

**ナルク**  
NALC

特定非営利活動法人  
ニッポン・アクティブライフ・クラブ  
事務局:大阪市中央区常盤町2-1-8 FGビル大阪 〒540-0028  
電話06-6941-5448(代表) FAX06-6941-5130

ホームページ <http://nalc.jp> 毎月1回  
Eメール編集室...kaiho@nalc.jp 10日発行

# ナルク設立25年の成果 預託時間が300万時間を突破

「NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ」(通称ナルク)は1994年4月20日、ボランティア団体「WACアクティブ・クラブ」として設立されました。25年を迎えたボランティアの内容は、会員相互の助け合い「時間預託活動」と、会員外の人や地域社会に貢献する「奉仕活動」に大別される。その柱の一つ、会員相互の助け合い「時間預託活動」の累計時間が、本年度で300万時間に達しました。この数字は先人たちの大きな努力の上に築かれたものだが、会員相互の活動成果であり、大いに称え合うべきものであろう。また、もう一つの柱、「奉仕活動」も370万時間に達するので、これは来月、詳細をご報告したい。

ナルクは、「自分無償ボランティアである。」の健康と生きがいを得るために、ボランティアをさせていた。そこで思い切って頻度を高く求められるので、自宅からの交通費と1時間1点の預託点数を与えられた。だから「自立活動・奉仕活動・助け合い活動で生きがい」をモットーとして堅持してきた。そして、自分たちの行うボランティアを次の二つに分類して活動している。

①時間預託活動 会員同志の助け合い活動 会員外の人や地域社会に貢献するその基本は、いずれも代償を求めない

## お別れの会延期について

会報3月号で「案内いたしました

「高畠名誉会長お別れの会」は、新型コロナウィルスによる感染症が、まだ広がりを見せていてる状況を考

え、3月31日の開催を延期いたしました。ナルクは高齢者を中心の団体です。方が一を考え、今の状況が収束方向に向かえば、改めてお別れの会を行いたいと思います。参加を予定されている関係者の皆様、ナルク会員の皆様には何卒ご理解いただきま

す。万が一を考え、今の状況が収束方向に向かえば、改めてお別れの会を行いたいと思います。参加を予定されている関係者の皆様、ナルク会員の皆様には何卒ご理解いただきま

すようお願いいたします。なお、お別れの会の新たな日程が決まりましたらお知らせいたします。

## お別れの会延期について

会報3月号で「案内いたしました

「高畠名誉会長お別れの会」は、新

型コロナウィルスによる感染症が、

まだ広がりを見せていてる状況を考

## お別れの会延期について</h

ある高齢の会員から「もう長くはないので、最後に京都の北野天満宮は亡夫との思い出。何でも北野天満宮へ連れて行ってほしい」と言われた。何でも北野天満宮は亡夫との思い出です。

昭和39年に結婚し3人の子供さんに恵まれました。自立して生きられる職業を目指して、看護師になるべく昭和48年に准看護師として市立伊丹病院に就職。3人の子育てを

おらが拠点の  
熱いひと

宝塚・川西 田川幸子さんの巻

私の拠点が  
16年香川県生まれ  
の田川幸子さんは今ま  
んは今までの経験を生かし、ご自宅を開放し高齢者の「憩いのサロング」を開設するなど、たいへんユニークな活動をされています。

田川さんは昭和52年、県立看護学校に入学、卒業後念願の看護師の資格と同時に車の免許証も取得されました。

病棟勤務の中で「家に帰りたい」と訴えるがん患者の

田川幸子さんをご紹介いたします。



ながら、昭和52年に県立看護学校に入学、卒業後念願の看護師の資格と同時に車の免許証も取得されました。（徳島拠点）

5回「今年で最後」が続き、昨年旅立たれたそのうち、「今年で最後」が続いた。それから5回「今年で最後」が続いた。そこには、母子家庭の彼をサポートできることはなく、母子家庭の家族もいなくなってしまった。水戸拠点は、これまで、空き家・空き地の草刈りである。またこの遠距離支援は、多くの拠点から、親の各拠点から、親の世話を見守りに活動されたが、最近は会員自身の高齢化

いいくことができるほど衰弱しているのに「管だらけ」にして延命し、痛々しそうな姿で亡くなっていく方たち。色んな矛盾の中で在宅ケアの必要性を強く考えられたようです。

その後、病院勤務から訪問看護ステーションにシフトを変え約10年、在宅ケアを追求する。その間に介護保険も始まり、ケアマネージャーとしても頑張られたそうです。

平成14年定年退職後、今まで手づくりの昼食を食べながら、集まってこられた地域の方達と老人の生き方を話し合ったりする憩いの場として、今年で14年目を迎えます。

9月5日 生後第1日。午前8時、沐浴。午後1時半より発熱。泣き明かす。

9月6日 2時間ほど、ゲームやマージャン、朗読などを通じて認知症カフェと称して、月に2回開催セントラルの連携も密にして、地域の独居高齢者や認知症の方々が安心・安全に暮らせるように努力され、地域の皆さんに大変喜ばれていました。自宅で高齢者支援を続ける田川幸子さんに、拠点も精一杯のエールを送っています。（拠点代表・平塚圭彦）

私は今年、94歳を迎えたが、元気、元気で毎日、最高の幸せな、価値ある人生を送っています。これはナルクのおかげでしょうか。私はマイナス思考は絶対、嫌です。毎日プラス思考で、楽しく最高の人生です。週に4、5日は、お誘いがあり、積極的に参加しています。それは地元、安曇川町内のサロン関係の場、また色々な学習の場です。安曇川中学校の生徒たちと交わって、ものすごく頭を使う場が最高です。神経を使って、疲れることもありますが、そこに、私の生きている価値を認めてくれる人たちがいる。ただ感謝あるのみです。

町内の幅広いお付き合い、楽しい友人ばかり。毎日、笑顔いっぱい。友達いっぱいです。「前川は絶対、怒らない人」との噂が飛び交っているそうです。年齢に賞味期限はありません。まだまだ、これから明るく、楽しく、元気よく。前進、前進で120歳まで！

びわこ高島拠点 前川ちよ子

★「ナルク(NALC)」とはNPO法人「ニッポン・アクティブライフ・クラブ」(Nippon Active Life Club)の通称です。



需要が絶えない故郷のお墓清掃活動

ある。あるところでは、特殊な活動事例である。早朝に徳島を出発して一路京都へ。境内の紅葉の木の下に天満宮へ連れて行った。何でも北野天満宮は亡夫との思い出です。

車いすを止めて1時間も思いに耽っていた。その後思い出の店で食事をして、徳島に帰着。「これで何でもない。思ひ残すこと何もない。ありがとうございました」と大変喜ばれた。そうである。それから5回「今年で最後」が続いた。その後、水戸市社協から「公立高校へ入学し可能を可能」にして、車いすの男子が授業のため教室を移動する際のサポートをしてほしい」との依頼があった。

校内にエレベーターはなく、母子家庭の彼をサポートできることはなく、母子家庭の家族もいなくなってしまった。水戸拠点は、これまで、空き家・空き地の草刈りである。

またこの遠距離支援は、国内だけではなく、アメリカ、イスラエルの各拠点から、親の各拠点から、親の世話を見守りに活動されたが、最近は会員自身の高齢化

手持ちの薬が少なくて困ったことの原因は、地域の空き家・空き地の草刈りである。

（水戸拠点）遠距離支援は、ナレクでなければできない貴重な活動である。



